

平成 27 年度
藤の里「結い」小規模多機能ホーム
サービス評価 公表資料

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		4	3	2	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		3	6		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	6	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	4	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>基本情報や周辺情報などある程度のニーズ把握はできている。ご利用者や家族と直接面談し、アセスメントするケアマネジャーからの情報がサービス開始前にカンファレンスや申し送り (またはそれに変わる書面) で必ずあり、初期段階での最低限の情報収集は行うことができている。また、ご利用者本人がサービス利用直後、まだ慣れない時期に声掛けや気遣いは十分にできている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>サービス利用前、直後の初期段階でのご利用者本人情報は最低限収集できているが、ご利用者本人の家族からの情報や自宅での生活、これまでの生活歴、意向など入手できていない重要な情報がよくある。病院や他施設からの情報は、退院時退所時サマリー (公式な情報) を通して把握できるが、非公式の情報が入りにくいことでの現場の不安が募っている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>アセスメント方式、センター方式の一部を活用してご利用者の情報媒体としているが、その書類自体が職員の日常的に閲覧しにくい事務所の棚に収納されており、重要な情報が活用できていない。今後は全職員が閲覧、追記、修正などしやすい場所に書類を移し、十分に活用していきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	6	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	4	3	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	5	2	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	2	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネジャーが作成したケアプランや、担当職員 (介護・看護職員 1 人あたり 1 から 4 名程の担当ご利用者がある) が作成した小規模多機能型居宅介護計画を元にカンファレンスで話し合うことができている。また、カンファレンスで話し合われ、振り返りのできた内容については次の対応に活かすことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の目標 (ゴールや～したい) が基本的には把握できていない。目標の設定のないケースは存在しないため、目標が把握しにくい環境だったり、目標が共有できる機会が充分ではないと言い換えることができる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご利用者一人ひとりの目標 (ゴールや～したい) がしっかり把握でき、それを元にカンファレンス等で話し合いができるように、目標の表示・明確化に努めていきたい。日々使用している書類 (介護記録・達成○×表・小規模多機能型居宅介護計画) に目標を明確に表示し、目標達成に向けた取り組みをしていきたい。また、目標の変更など心身の変化に柔軟に対応できるようケアマネジャーと各職員が連携して行きたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			1	8	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		9			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?			6	3	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		7	2		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?			9		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>食事や入浴、排泄の支援は個々のご利用者に合わせて方法で支援できている。食事形態や排泄間隔、排泄方法、入浴方法や時間などご利用者ごとに違うことが当然であるという感覚を多くの職員が持ち合わせている。また毎朝の申し送りではご利用者の日々の変化について共有する場となっており、参加できなくても日誌に同様の内容が記されており、いつでも共有できるようになっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご利用者本人の自宅での生活や以前からの暮らし方など、把握できていないことが多くある。自宅に伺う際に把握できることが多いが、訪問対応以外で自宅に出向く機会が乏しく、送迎等も決まった職員で対応することが多いためにホームでの様子以外は把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>送迎について、決まった職員に頼ることなく、多くの職員が対応し自宅での生活や以前の暮らし方が安易に想像できるようにしていきたい。頻回に自宅へ出向くケアマネジャーとの情報共有も重要となることから、カンファレンス等での情報共有も強化していきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	初回の評価方式のため次回に繰り越し
前回の改善計画に対する取組み結果	初回の評価方式のため次回に繰り越し

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	7		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	5		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	8		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			5	4	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人と家族・介護者や地域との関係が切れないように支援しているとはいえないが、関係が切れないように意識しているとは言える状況である。当ホームが自宅での生活を応援する在宅サービスであると全職員が認識している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人のホームを利用していない時の自宅での過ごし方など把握できていないことがある。ホームで本人と話す事以外は家族等とは話す機会がなく、送迎等も決まった職員で対応することが多いために自宅での生活が想像しにくい環境になっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>送迎等で多くの職員が家族と話す機会を増やして、季節行事等にも積極的に家族を巻き込み交流を図っていききたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00))
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	初回の評価方式のため次回に繰り越し
前回の改善計画に対する取組み結果	初回の評価方式のため次回に繰り越し

◆今日の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?			6	3	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		6	2	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		5	4		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		5	4		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
それぞれのニーズに合わせて「通い」「宿泊」「訪問」の各サービスが妥当適切に提供されており、小規模多機能型居宅介護の柔軟性を多くの職員が理解できている。また日々変化する心身の変化やニーズに対しても柔軟に対応することを意識できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
当ホーム以外の社会資源を活用して支援しようとする意識がかけられている。地域にある社会資源の情報に乏しく活用するまでには至っていない現状である。また、ご利用者によりサービス利用に偏りがあるとの意見があり、ご利用者本人のみでなく家族や近隣などの関係にも着目した支援のあり方を説明していきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご利用者の半数以上が居住している武並町内にある社会資源マップを作成し、全職員で共有できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00))

6. 連携・協働

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	3	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	8	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	3	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	3	3	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ケアマネジャーが開催するサービス担当者会議の出席は、管理者、看護師で分担して参加することが多く、会議自体は他事業所を交えながら開催できているが、シフトの関係上ご利用者担当者が参加する機会は少なくなっている。地元開催の地域イベント等にはお声がけをいただき参加しているが、市内広域にわたってのイベント等ではない。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自治体や地域包括支援センターとの会議に多くの職員が参加する機会は少なく、管理者・ケアマネジャーが参加するケースが大半となっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>サービス担当者会議において、書面による参加ではなく全ご利用者の 1/3 の数分は会議に出席できる体制を整える。また地域の高齢者や子ども等がふらっと遊びに来やすい広場を整備する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)

7. 運営

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		4	4	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	6	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	6	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	8			9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域に必要とされる拠点となるよう、いきいき教室の開催や認知症サポーター養成講座の開講、RUN 伴の参加、近隣のサロン事業への参加など、意識と取組みはより高まっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所のあり方について定期的に意見を述べる機会が保たれていない。また苦情への取り組みは即実行をスローガンに行っているが、ご利用者の荷物間違いなどなかなか改正されない苦情が発生している。荷物間違いなどは、サービス体系が柔軟であるがゆえ複雑化している結果であり、サービス業として間違いの起こらない方策を検討、実践していきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所周辺の道路マナー徹底 (20km/h 走行) と荷物チェック方法の再検討	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	4	1	3	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2		2	5	9
③	地域連絡会に参加していますか				9	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	2	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>研修の参加は全職員が満遍なく外部研修を受けられる体制ではなく要所の職員への偏りがあるが、毎月の内部研修では全職員対象に行うことができている。資格取得やスキルアップのための研修等は職員個々のモチベーションに依存していることが多く、参加する人はしているという個人差が大きくなっている。リスクマネジメントについては毎月の集計結果を踏まえながら再発防止に取り組んでいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域連絡会の参加は自治会に参加しておらず参加できていない。それに準じた地域の連絡会があれば参加意欲はある。地元地縁団体、藤区振興会との会議は年 4 回開催されており、参加して交流出来ている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>来年度の研修計画作成前に職員一人ひとりとの面談結果と役割に応じた研修計画を作成していきたい。また全職員向けのスキルアップのための研修など積極的に案内し、内部研修も講師等を考慮のうえ必ずしも法人内の講師に関わらず計画していきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 25 日 (18 : 00～19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山本歩、曾我美也子、千村みづほ、澤田明伸、高玉みゆき、伊藤志穂里、市岡茂基、西尾千津子、山本靖代、度会みさ子、古山信子、石原佳依、光岡未央、宮地幸、山本徳二

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回の評価方式のため次回に繰り越し	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	4			9
②	虐待は行われていない	7	2			9
③	プライバシーが守られている	1	6	2		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	1	2	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5			

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待等は行われておらず、日頃からの徹底が反映されている。プライバシーの配慮も可能な限りの対策と職員の気遣いで守られている。個人情報の管理は地域の関係性より難しい場合もあるが配慮できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度について「聞いたことない」という職員も多数いた。制度の活用は過去に 1 度あったが本人・家族とケアマネジャー、東濃後見センターとの間で完結しており全職員に周知できていない。制度利用直後に入所となったご利用者分の利用料の支払いを現在も東濃後見センターを通して受けている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
これまで毎年開催している身体拘束・高齢者虐待・プライバシー保護勉強会に加えて、来年度、成年後見制度の勉強会を開催したい。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 経友会	代表者	山本 正成	法人・事業所の特徴	小学校、保育園であった歴史のある場所を使って地元住民に愛される事業所を目指して、「持ちつ持たれつ」の「結い」の精神を事業運営に取り入れている。 山間の和やかな自然環境の中、ゆっくりと一人ひとりのご利用者に向き合い、その人その人の「あたりまえの実現」を理念に掲げている。
事業所名	藤の里「結い」 小規模多機能ホーム	管理者	山本 歩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	人	1人	人	3人	1人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			外部評価の全体的な流れが詳細に説明出来ておらず、事業所内の取組み説明など説明に欠ける部分があった。	地域関わりシートの記入をお願いする前に、事業所自己評価の詳細な説明をする。
B. 事業所のしつらえ・環境			特に意見等はなかったが、問いに対して「わからない」との回答が多々見られた。	事業所内の様子がわかりやすいように、運営推進会議の開催を事業所内で行ったり、気軽に見学できるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり			特に意見はなかったが、事業所スタッフの地域行事やイベント参加に関して「わからない」の回答が多かった。	特定のスタッフだけでなく、多くのスタッフが地域行事やイベントに参加できるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			特に意見はなかったが、「利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか」の問いに「いいえ」が2名あった。	外出はしているが、頻度の低さが気になる場所もあり、体調と天気が良ければ毎日外へ出るようにしたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み			特に意見はなかったが、事例検討について行われているかの問いに「わからない」が多かった。	地域の心配な方等への事例検討を運営推進会議中で行っていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策			特に意見はなかったが、防災計画の存在を会議中で話したことがなかったため、「防災計画を知っていますか」の問いにわからないとの回答が多かった。	会議中で防災計画を示しながら、防災訓練に参加していただくようにする。

